



いちょうっ子

～夢いっぱい 笑顔いっぱい 共に生きるいちょうっ子～

＜学校教育目標＞ 児童数401名

〔強く〕 自信をもち、心身ともに鍛える子

〔正しく〕 深く考え、進んで学ぶ子

〔美しく〕 明るく、思いやりのある子

あいさつはコミュニケーションの第一ステップ

校長 藤村 郁夫

2月となりますと、暦の上では節分・立春と春になりますが、今年の寒さは厳しく、十年に一度の寒波の襲来といわれております。校庭の芝生もすっかりベージュ色となりましたが、子どもたちはそのカーペットの上で、元気に縄跳びをしたり、ボール遊びをしたりしています。本校では、未だそれほど感染症（新型コロナ、インフルエンザ、ノロウイルス等）は流行っていませんが、今後の拡大が心配されます。予防対策や日々の健康管理をしっかりと行い、元気に年度の総まとめをしていきたいと思ひます。

さて、先日、「鴻巣市人権・男女共同のつどい」がオンラインで開催されました。参加された方もいらっしゃると思いますが、内容は、中学生による人権作文の発表と家田荘子さん（作家・僧侶）による演題「一緒に生きていこう～あなたの愛を求めています～」のご講演でした。その家田さんのお話は、壮絶なご自身の実体験と様々な社会問題への深い取材によるもので、私にとって大変勉強になり、強く心を揺さぶられるものでした。そこで、お話の一部を紹介させていただきます。

「現実社会には、人知れずいくら努力してもどうすることもできないことに苦しむ人たちが数多くいます。その人たちを救うにはどうすればよいでしょうか。それは、あいさつです。あいさつから会話ができるような関係になり、苦しみから救えるかもしれません。（概略）」と話されました。

さらに、「あいさつはコミュニケーションの第一ステップです。」何回も四国巡礼の旅をしている中で、「あいさつのできる街とできない街がある。」「あいさつができる街は、どんな年代の人でもあいさつができる素敵な街です。街がきれい。人の顔が明るい。」などの言葉に元気をいただきました。

上手にコミュニケーションをとることは難しいものです。もしかしたら、人間にとって永遠の課題かも知れません。学校では、まずはあいさつ・返事から子どもたちに指導します。いつも私は朝、正門で子どもたちの登校を見守りながら「おはようございます。」とあいさつ指導をしています。あいさつによって子どもたちも心の扉を開いてくれると感じています。最近は、あいさつをよく返してくれるようになり、朝の登校指導が楽しくなりました。こちらのあいさつよりもっと明るく、澄んだ、美しいあいさつが跳ね返ってくると、こちらをもっと美しいあいさつができる人間になればと思ひます。

次の未来を担う子どもたちにとって、コミュニケーション能力はより重要になってくるはずです。AIが進化し、何カ国語も通訳できる機器が普及しようとも、思いや考えを伝え合うことの難しさは変わりません。でも、上手にコミュニケーションを図ろうとすることが、生活をより楽しく、社会を豊かにすることにつながります。あいさつから明るい未来へのきっかけにしたいものです。

3学期も半ばとなり、6年生は卒業に向けての取組が進んでいるところです。6年生には、北小で学んだことを誇りに希望を持って中学校へ進んでもらいたいと願っています。また、他の学年も学習内容はもちろん、今身に付けるべき基本的な生活習慣をしっかりと身に付けて、自信をもって進級してほしいと思ひているところです。引き続きご理解とご協力の程よろしくお願ひします。